

中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本  
設計及び実施設計に係る今後の予定について

1 経緯

(仮称) 新建物は人口減少等を踏まえた持続可能な施設総量の縮減を踏まえ、中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の合計延べ床面積約10,000㎡を上限8,000㎡に縮減することを前提に複合化する。

市民の多様な活動や交流が地域課題の解決につながるような施設とし、地域課題の担い手育成の場を展開することをコンセプトとしており、ハードとしては、できる限り外部から活動が見えるようにオープン化、ソフトとしては、機能やサービスの質的融合を目指している。一方で、複合化により目的の異なる機能が同一の建物に設置されるため、動線や配置、防音などに配慮が必要となる。

また、(仮称) 新建物及び周辺の公共施設の必要な駐車場数の配置、渋滞緩和及び歩行者等の通行の安全の確保、(仮称) 新建物等の周辺施設との相乗効果をもたらす多目的エリア、跡地利活用など、中央エリア全体で一体的に行うことが必要となる。

本事業は大規模かつ複雑なものであり、広範囲で豊かな知識と経験が必要であるため、プロポーザル方式により最適な事業者の選定を行う。

2 事業期間

令和3年度から令和6年度

3 予算措置

371,118千円(総額)

【内訳】

令和3年度 111,336千円(前払い)

令和6年度 259,782千円(業務履行後払い)

4 業務委託の概要

(1) 設計業務

- ①中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の機能を統合した複合施設の設計
- ②中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の解体設計
- ③中央公民館敷地、健康福祉事務センター敷地、福祉会館敷地の外構整備設計  
(多目的エリア整備設計を含む)

(2) 検討業務

①跡地利活用検討業務

②都市再生整備計画検討等業務

5 今後の予定

令和3年

1 1月上旬

第二次審査

1 2月上旬

契約締結

令和4年

1 月下旬

説明会（事業者及び提案内容の紹介）

※今後の予定は現時点での想定であり、変更になる可能性があります。

6 その他

詳細については、市ホームページに掲載している、プロポーザル実施要領及び業務委託特記仕様書等をご覧ください。